



しののめYMC Aこども園 園だより

2025年度 4月号

発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

4月聖句 あなたがたは神に愛されている子供です

エフェソの信徒への手紙 5章1節

今年の東京の桜開花宣言はほぼ平年通りで発表されました。そして3月末には満開の宣言が発表されました。この数週間の気候は、雪が降るほどの寒い日が続いたと思うと、突然初夏を思わせるような暖かさが広がり、寒暖差に驚かされました。

ご入園、ご進級おめでとうございます。いよいよ2025年度がスタートしました。皆様と一緒に新しい年度を迎え、新しい出会いに感謝いたします。

年度が変わった4月1日より乳児さんたち、長時間のこどもたちが登園してきました。長時間のこどもたちは3月31日までは、てんとうむしぐみ、年少ぐみ、年中ぐみでしたが、新しい朝を迎えると年少ぐみ、年中ぐみ、年長ぐみへと進級しました。1日、私がそれぞれのYわいクラスに顔を出すと、しっかりと一つ上のお兄さん、お姉さんに進級をした挨拶、お友達との関わり、生活をしていました。2024年度、たくさん友達と遊び多くの価値に触れ、様々なことを吸収することができたことを確信しました。そして同時に遅しさを感じました。0歳児のちようちよ組のこどもたちは、初めて保護者から離れての生活になります。大粒の涙を流し、大きな声で泣く姿が見られます。みつばち組、てんとうむし組のこどもたちは、さすがこども園に慣れていきます。先生が変わり少し不安な顔つきを見せますが、知っている先生の顔を見つけると安心した顔つきに変わっていきます。このようにこどもたちの心は揺れ動いています。保育者がいつもそばで寄り添い、安心して生活できる居場所をつくり、信頼関係を築きあげて参ります。こども園が大事にしている、「自分が大好き みんなが大好き」、「多者を認め受け入れる気持ち」、「人に仕える気持ち」を大切に「主体的に生きる人」に成長してほしいと願いながら保育をして参ります。

こども園という小さな社会の環境の中で、こどもたちはゆっくりとそれぞれの光を輝かせながら過ごしていけるように、保護者の方々のご支援・ご理解を賜り、共に歩んでいきたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

▼お知らせ

- ・お誕生日カード:個人情報保護の観点から郵送はしないことといたしました。
- ・お誕生日会:出席していただいた保護者の方々とはこどもたちと一緒に給食を食べていただきます。また4月の年少さんは給食が始まっていませんので、こどもたちと一緒におやつを食べていただき、その後オリーブの教室で給食の試食をしていただきます。(昨年度は給食の試食のみでした)
- ・お誕生日会の体系を少し変更いたします。詳細は改めてお知らせいたします。
- *ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。